

## 東京NCグローバルミーティングを開催して

理事長 有馬真喜子

国連ウィメン日本協会は、2014年UN Women国内委員会グローバルミーティングを主催しました。10月27日から29日まで、場所は、海外研究者の評価が高く、美しい日本庭園もある東京の国際文化会館。15のUN Women国内委員会中10か国が参加し、国内委員会を解散したスイスも姿を見せ、国連の本部からも二人、アジア太平洋地域事務所から一名の担当者が参加しました。

前年のグローバルミーティングはローマ、その前の年はロンドンで、それぞれに内容も温かさもあるミーティングでしたので、日本も、今年初めから準備を始め、行ってよかったと思っただけの会合にすべく、理事、アドバイザーを中心に用意を重ねました。結果から先に申しあげれば、参加者からも国連側からも「最良のグローバルミーティングのひとつ」との評価をいただきました。

日本のグローバルミーティングの特徴をあげれば、以下の3つに集約できるかと思えます。まず、各国国内委員会の活動の様子がよく分かり、お互いにその性格を理解し、よい例を学びあえたこと。担当者が他の稿で、具体的にご報告していますが、私たちが当初からもっとも重点を置いたことだけに、いい成果でした。

第二に、政府や国会議員の方々から、温かいご支援とご協力をいただいたことです。オープニングでは上川陽子・国連ウィメン「開発と女性」議員連盟会長代行（法務大臣）と赤澤亮正内閣府副大臣が、非常に内容のある歓迎挨拶を



してくださり、参加者からたいへん好評をいただきました。

外務省は、初日の夕方から、外務省講堂で、中山泰秀副大臣主催のレセプションを開いてくださり、国内委員会の方々を歓迎してくださいました。ご挨拶の中で、副大臣のご祖母・中山マサさんが日本初の女性大臣だったことに触れられたことから、若い副大臣は各国国内委員会の方々のアイドルのようでした。

第三に、国連ウィメン日本協会のメンバーの献身、協力です。決して若いとは言えないメンバーは、自発的にそれぞれの分野を担当し、バスツアー、気分の悪い時などの相談、PPTの具合の確認、報告書の作成などなど、ほんとうにさまざまな事柄に取り組み、気持ちのいい会合を行うことができました。

2015年のグローバルミーティングはノルウェーのオスロです。

### NC参加者からのコメント

・英国NC代表・事務局長 ジャン・グラスティ  
東京グローバル・ミーティングは私たち全NCが希求するジェンダー平等の進展やその課題を理解するうえで興味深く、意義ある会合でした。あのような効率的且つ柔軟性に富む会議を設けて下さった日本NCの皆さま方に感謝します。同時に、日本NCチームの皆さまの行き届いたおもてなしにも感謝します。CSWでまたお会いしましょう。

・オーストラリアNC事務局長 ジュリー・マケイ  
寛大で親切、そして素晴らしい運営による会議を開催して下さい心よりお礼申し上げます。会議は生産的、建設的であり、素晴らしい日本での体験に参加者一同大いに感動しました。個人的な話ですが数年前に兄を日本で亡くして以来の来日でしたが、兄の大好きな日本の方々の暖かい心に再会する機会となりました。有難う。皆さまのご多幸をお祈りします。

JNCの皆さまによりしくお伝え下さい。CSWでまたお会いしましょう。

(有馬真喜子理事長宛てお礼状より一部抜粋)

## 各国NCの活動報告と活発な意見交換で充実したミーティングに

理事 田中由美子

本会合での主な議題は以下の通りです。

1. UN Women本部からの報告：新資金調達戦略、政府への広報啓発、HeForSheキャンペーン、計画されている会合(北京+20、国連婦人の地位委員会、ポスト2015年開発目標等)。
2. UN Womenアジア太平洋地域事務所(バンコク)からの活動報告：NCが支援しているプログラムについて、その支援方法などに関する報告。
3. UN Women本部からの報告：国連女性に対する暴力撤廃信託基金、国連ジェンダー平等基金。
4. UN Womenのための募金活動について：日本からは日本企業のCSRからcreating shared value(CSV)への移行、国連ウィメンへの期待などについて発表、オーストラリアからは大学やビジネススクールと連携している現状と戦略などについての発表。
5. 国内委員会による国別活動報告と質疑応答：オーストラリア、オーストリア、カナダ、フィンランド、ドイツ、アイスランド、シンガポール、英国、米国、日本、スイスからの報告。
6. 国内委員会による優良事例の発表：①日本からは、国内委員会の組織強化および協力協定団体とのパートナーシップについて発表、②アイスランドからは男性や若者を巻き込んでいくことの重要性について発表。
7. 今後の活動および国内委員会とUN Women本部の連携強化：各国が支援しているプログラム、これから支援してい



そうなプログラムについての討議など。

8. 次期UN Women国内委員会グローバル会合開催の情報共有：ノルウェーのオスロで2015年8月末に開催予定。
9. 閉会式。



国際チームの目黒理事が主に進行役を務め、田中理事が進行補佐をしました。三輪理事は国別活動報告と優良事例の発表を担当し、本田理事は会議全体の議事録作成を担当しました。

議長の的確な議事進行により、平等に時間を使わなければならない、議事全体を円滑に進めなければならないということが徐々に理解され、後半になると参加者のほうから、時間厳守という言葉も出てくるようになりました。全体になごやかな雰囲気の中、お互いに言いたいことを言い合い、大変建設的な会合になりました。

今回の会合では初めてすべての参加国ごとの活動発表がおこなわれましたが、さまざまな工夫を凝らしてUN Womenの活動を紹介し、資金集めをしていることがわかり大変参考になりました。

日本協会の今後の課題は、日本国内の女性のリーダーシップの発揮、および男性や次世代を担う青年(男女)にUN Womenの活動をもっと知ってもらい、HeForSheキャンペーンなどに参加してもらおうようにすることではないかという感想を持ちました。

今回の会合の議事進行や議題設定の方法はとても良かったということで、その多くがノルウェーで開催される来年の会合でも引き継がれることになりました。

## 主催レセプションで、各国NCの代表者と和やかに懇談

理事 阿部幸子

第2日目、10月28日の夕刻に、国際文化会館地下一階のホールを会場として、各国NCの参加者、国内の関係者をお招きし、会員、支援者、各関係団体等の多数の皆様のご参加を得てレセプションを開催しました。

参加者の総計は約90名となり、渋谷典子理事の司会により開会。はじめに有馬真喜子理事長の挨拶、ついで賛助個人会員で元文部大臣赤松良子氏のご発声による乾杯、引き続き11か国の出席者による各国NCの紹介、UN Women本部の職員アントニー・ディ・ヨン



グさんとミツシ・ダスさん、アジア太平洋地域事務所職員渡瀬真澄さんのスピーチが行われました。各1分間程度のショートスピーチでしたが、各国ともメッセージ性を込めたユーモアあふれるスピーチをされ、絶妙な話しぶりに笑いを誘

う場面もあり、和やかな雰囲気醸成されました。

食事は立食形式でしたので、出席者が入り混じっての懇親が



図られ、その間に松川るい外務省総合外交政策局女性参画推進室長ほか来賓のスピーチがありました。会の終盤には、鷺見八重子理事の紹介とともに突然現れた袴姿の山中信人さんにより津軽三味線が演奏されました。各国NCの参加者は目を見張り、「津軽三下り、さくらさくら、津軽じょんから節」の3曲に熱心に聴き入りました。最後に、NCを代表してイギリスNCのジャン・グラスティさんから感謝のことばが述べられ、岩田喜美枝副理事長の挨拶で閉会しました。

参加者の中には美しい和服姿もちらほら見受けられ、余興の津軽三味線、和も組み入れた料理など、各国の参加者に日本の雰囲気を味わっていただけたものと思います。

## 皇居外周、浅草からお台場まで大好評のバスツアー

理事 阿部幸子

東京の街には赤い車体の2階建てルーフトップのバスが走っています。このスカイバスのいくつかの観光コースの中から、ぜひともご案内したい2つのコースを選び、東京バスツアーを企画しました。NCの参加希望者を募ったところ、大部分の会議参加者からの申込があり、コースの下見をしたり、細部の計画を見直したりして当日の実施にそなえました。



会議3日目、10月29日の午後は、雲ひとつない晴天に恵まれ、暖かな観光日和となりました。参加者は総勢23名。閉会式後、丸の内三菱ビル前のスカイバス乗車場から13時発のスカイバスに乗車。皇居、国立近代美術館、英国大使館、国立劇場、最高裁判所、国会議事堂、霞が関、銀座を一巡するコースを天井のないバスの2階席から観光しました。

次に乗車するスカイホップバスの乗車券を購入するために残った4人は、スカイバスの帰着を待ちました。50分間のツアーから笑顔の参加者たちが戻り、全員が揃ってスカイホッ

プバスに乗車し、次の目的地、浅草に向かいました。日本橋、上野を通り、隅田川を渡ると、目の前に東京スカイツリーがそびえ立っています。スカイツリーの下でバスは一旦停車、言問橋を渡って花川戸の停留場で私たちはバスを下車し、浅草雷門まで歩きました。

ここで2人の観光ボランティアに迎えられ、これより2つのグループに分かれ、1つのグループは浅草寺から観光センターに戻り、屋上から浅草の街並みや隅田川、スカイツリーなどを眺め、他のグループは、浅草寺から東参道に出て、ショッピングに時を過ごしました。

2時間ほどの短い時間でしたが、大提灯や朱塗りの建物、仲見世の賑わいなど十分に日本の情緒を楽しんでいただけたと思います。夕暮れの浅草から再びスカイホップバスに乗り、18時10分に丸の内に戻り半日のバスツアーは無事終了、さらに8名の有志はお台場コースの夜景を満喫しました。



## 国連ウィメン日本協会の活動から

### シャイン・ウィークスでUN Women ビデオ上映会を開催

政府等主催の「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム」のシャイン・ウィークス公式サイドイベントに応募し、国連ウィメン日本協会は、9月9日、「UN Womenで知る世界の女性たち」と題して、ビデオ上映会を開催しました。

上映ビデオは、第30回市川房枝女性の政治基金の助成を受けて日本語字幕を制作した「ハイチの女性・女兒に対する暴力：内なる敵」「平等への道：ジェンダーに配慮した政策と予算」「手をたずさえて：女性・平和・安全保障」の3本に、新たに字幕を制作した「女性に対する暴力にNO！アフリカをひとつに！」の4本。それぞれ、目黒依子理事による解説付きで上映しました。

女性の重要課題でありかつ対策が遅れているこれらの分野のビデオは、視聴者に強い印象を与えたようです。参加の2団体から、団体内での上映の申し込みもありました。これらビデオは当ホームページからYouTubeで見ることが出来ます。

### 「国連PKOとジェンダー」

理事 目黒依子

内閣府国際平和協力本部事務局より国際平和協力本部研修の一コマとして「国連PKOとジェンダー（現地活動におけるジェンダー視点の必要性について）」の依頼があり、三輪・目黒両国際担当理事が実施しました（8/19）。派遣前研修の対象者は南スーダン国際平和協力隊（部隊要員）の隊員予定者で、陸上自衛隊神町駐屯地（山形県）の約500名（含む予備隊員）。体育館での講義の最初、「ジェンダーって聞いたことがない人います？」の問いにパラパラと手が挙がったので、身辺のジェンダー役割や規範を例示しつつ紛争の影響と支援の国際基準について行った講義は、UNW本部制作VTRの日本語版の上映効果もあり、受講者の関心を引きつけた模様です。

### ファンドレーシングチームが新たに発足

理事 清水あつ子

2014年は組織として新たにファンドレーシングチームが発足し、安定的、継続的にUN Womenに拠出できるファンドレーシングの基盤作りを行うという長期ビジョンを掲げて活動を開始しました。本年度は17社の皆様に私たちの活動についてお話をさせていただく機会を得ました。寄付や賛助会員の拡大とともに新たなしくみができましたので、ご紹介いたします。支援の方法が多様化し、皆様それぞれに合ったご支援をいただければ幸いです。



### 1. 株式会社高島屋の「TAKASHIMAYA ROSE SELECTION」への掲載が決定

高島屋のギフトカタログから国連ウィメン日本協会への寄付が、お選びいただけることになりました。お返しなどでのご利用を期待しています。

### 2. ブックオフ〈ボランティア宅本便のシステム〉に加入

中古の本、CD、DVD、ゲームソフトなどを国連ウィメン日本協会が寄贈を受け、ブックオフに販売し、さらに査定金額+10%がブックオフから都度寄付としてプラス寄贈されます。

### 3. タルボットジャパン株式会社創立25周年記念寄付付きボールペン

会社創立25周年を記念して、全国の39店舗にて2014年10月からタルボットジャパン社ロゴ入りボールペンを寄付100円につき、1本プレゼント。※2,500本限定

### 国連ウィメン日本協会のホームページが新しくなりました

アドバイザー 矢島千里

以前より広く会員内外からたくさんのアクセスをいただいております公式ホームページのトップページをリニューアルしました。

公式ページに一発検索できるようになり、スマートフォンでも拡大やスライドせずに情報が読めるようになりました。またフェイスブックやツイッターなどのSNSにも対応できます。

会員以外の一般の方々が見ても親しみやすいように、活動内容の紹介写真、気軽にご支援いただけるようなアイコンの工夫、ハリウッド女優親善大使のメッセージ動画など、レイアウトにもこだわったHPをぜひご覧ください。「国連ウィメン」で検索、FaceBook、Twitterにご登録を！

### 国連ウィメン日本協会パンフレット改訂版発行

アドバイザー 岩城淳子

この新たな表紙にどんなイメージをいだかれますか？しっかりと自信を持って、凛として前向きに生きる女性。ここに国連ウィメンが全世界の女性に願う姿があるのではないのでしょうか？そんな思いからこの写真を表紙に選びました。国連ウィメンの掲げる7つの理念を明確に伝え、また新たな本部の試みや国連ウィメン日本協会の活動を紹介しています。皆様の周囲の方々にも広く国連ウィメン日本協会について語っていただく“分かりやすい”コミュニケーションツールとしてご活用いただきたくお願い申し上げます。パンフレット改訂版ご希望の方または団体は必要部数を事務局にお申し込みください。



## UN Womenの動き

### HeForShe キャンペーンを支援するエマ・ワトソン



UN Women親善大使の女優エマ・ワトソンは、UN Womenが世界で展開する“HeForSheキャンペーン”の牽引者です。2014年9月の国連総会で「女性や少女への差別をなくし、ジェンダー平等を達成することはすべての人に恵みをもたらします。しかし、そのためには男性の積極的な参加が不可欠です。HeForSheキャンペーンサイトでは10万人の男性(あなた)の声を求めています」と訴えました。

HeForSheキャンペーンに参加するには、上記サイト“<http://www.heforshe.org/>”にアクセス。“HeForSheコミットメント”に賛同し、画面上の“I agree(賛同する)”をクリック。名前、国、Eメールを入力すると、入力者のHeForSheの順番と国別参加人数が表示されます。

エマ・ワトソンは「ジェンダー平等は女性に限った問題ではありません。それは、私の参加を必要とする人権の問題です。私は、女性と少女が直面する、あらゆる形態の暴力と差別に取り組みます」と力強く語っています。



### ジェンダー平等基金チャンピオンになった五嶋みどりさん

世界的バイオリンニスト五嶋みどりさんは、2007年に国連ピース・メッセンジャーに就任。日米における音楽を通じた社会貢献活動を20年以上続けています。日本では、認定NPO法人「ミュージック・シェアリング」で、子どもたちに本物の音楽を届ける活動を行っており、2006年からはその活動をアジアにも展開しています。2014年11月には、「女性に対する暴力の根絶」のためのキャンペーンにも国連ピース・メッセンジャーとして参加。ビデオメッセージが当協会ホームページでご覧になれます。UN Womenが管理するジェンダー平等基金のチャンピオンにも就任しました。



## 応援メッセージ

### 有馬理事長の講演に感動して

国際ソロプチミストアメリカ日本西リジョン 会員  
大塚享子

2014年8月、岡山県で開催された国際ソロプチミスト日本西リジョン研修会に参加しました。そこで、世界中の女性と少女たちの様子を深く知る機会を得ました。

その講師は、国連ウィメン日本協会理事長有馬真喜子さん。お優しい語りいで始まった講演は、世界の困難な状況を数字と写真からご説明いただくものでした。スライドに写る現状報告は、私の胸に響いた大切な時間でございました。

私は人口6万人ほどの地方に住み、地域社会で奉仕活動に関わっておりますものの、このたび、世界を見渡す活動の場、そして女性の味方である国連ウィメン日本協会の内を知り、感銘いたしました。

今回ノーベル平和賞受賞のマララさんの訴え「子ども女子にも初等教育を」の声は、日本では考えられなくただ驚きです。すぐさま何とかしてあげたいと思うばかりで、行動に至らない高齢者の一人です。

未来に夢いっぱい女性や子どもたちが「しあわせ」に過ごせますよう、国連ウィメン日本協会のますますのご活躍に期待申し上げます。

ありがとうございました。

注：毎年高額なご寄付をいただいている国際ソロプチミストアメリカ日本西リジョンからのご依頼で、同会研修会(1000名参加)にて、有馬理事長が「国連ウィメン日本協会 ～世界の女性とともに～」と題して講演をしました。

### ケニアの女性生産者の手によるブレスレットで世界の女性と少女を支援！～JALの機内誌「スカイワード」にも掲載されました～

理事 三輪敦子

「国連女性に対する暴力撤廃信託基金」では、ケニアからクリエイティブで魅力的なエシカル・ファッション(生産者との公正な関係を重視したファッション)を世界に発信するブランド「ソコ(Soko)」と協力



ブレスレットをしている  
親善大使ニコール・キッドマン

し、国際女性デーである2015年3月8日まで、3種類のブレスレットを販売しています。ケニアの女性生産者の手によるブレスレットは、10ドルから35ドルで末尾のサイトから購入可能です。

この取り組みを、JALの機内誌「スカイワード」12月号で取り上げていただきました。収益の一部は「国連女性に対する暴力撤廃信託基金」に寄付され、世界で展開されている女性と少女に対する暴力を根絶するための活動に使われます。

Soko  
[shopsoko.com/UNTF](http://shopsoko.com/UNTF)  
#UNTF @SayNO\_UNiTE

## 協力協定団体の活動

### 国連ウィメン日本協会 北九州

昨年7月に、国連ウィメン日本協会北九州は設立20周年を迎え、記念事業の開催と記念誌の刊行を行いました。日本協会の有馬理事長をはじめ協力協定団体の皆様には、ごあいさつやご寄稿を快くお引き受けいただき、本当にありがとうございました。多くの方々のご協力のお陰をもちまして、思い出深い内容とすることができました。

7月26日の記念事業では、北九州市長、北橋健治氏からのごあいさつ、ユニフェム北九州初代会長、藤岡佐規子氏への功労者表彰、有馬理事長からの記念講演、フォトジャーナリスト安田菜津紀氏からの写真による講演、ソプラノ歌手、白川深雪氏によるコンサート、最後は会場全員での「夏の思い出」斉唱と、盛りだくさんになりました。また記念誌については、前回の10年史から10年ぶりの刊行となりました。なんとか9月末には刊行することができました。

事務局長 河野賢司



### 国連ウィメン日本協会 大阪

2014年12月13日、クレオ大阪中央にて、国連ウィメン日本協会大阪10周年記念事業として、『ベアテの贈りもの』の上映会を開催しました。

GHQ憲法草案制定会議のメンバーとして日本国憲法の起草で人権条項作成に関与したベアテさん。戦前の日本女性の地位の低さを知っていた彼女が、どういう思いでこの草案を起草したのか。また、戦後の日本女性達が今日まで、女性の地位向上のためにどれほどの苦勞と情熱をもって取り組まれてきたのか。この映画



は、それらを語る女性史であるだけでなく、戦前から今日までの世界史と日本史を凝縮したとても内容の濃い映画でした。

偶然にもこのイベントを行った翌日、衆議院議員総選挙が行われました。ベアテさんが贈ってくれた男女平等の重みを感じて投票をした女性はどれほどいたでしょうか。平和であることが当たり前になった今、もう一度この平和のありがたさや女性の地位向上について認識をし、我々自身がしっかりと責任持って社会参加する必要を、改めて考えさせられました。

理事 伊藤裕美

### 国連ウィメン日本協会 堺

堺市は、2013年12月、UN Womenのセーフシティーズ・グローバル・イニシアティブに、先進国で2番目、国内初の参加を表明しました。これを記念して、2014年11月21日、行政・市民・関係団体等が一丸となって、堺市セーフシティ・プログラムキックオフシンポジウムを開催。公的空間における女性と女兒に対する性暴力等の現状調査分析をふまえ、「すべての人にとって安全安心なまち堺」への防犯対策の推進と、男女平等の推進に欠かせない「女性に対するあらゆる暴力の根絶」にむけての決意を新たにしました。国連ウィメン日本協会堺では、シンポジウム開催に協力し、堺モデルを確立し世界に向けて発信していきます。

事務局長 久保洋子



### 国連ウィメン日本協会 多摩

私たちは有志でつくっているモンゴルキルトの会からの寄付金でUN Womenを支援しています。16年前、初めてのモンゴル訪問でマンホールチルドレンに会ってから、どうして戦争も無いのにこのような子供たちがいるという疑問が頭から離れませんでした。14年前再訪問のとき出会った弁護士で、私たちのガイドをしてくれた、ツエレンダッシュさんから、女性たちに学び、仕事が出来たらと思うという話を聞き、何をすれば良いかと相談をされました。2004年元手が少なく始めてくれるキルト、パッチワークの工房をはじめました。ミシンを手持ちでモンゴルに運びました。デザインの注文をつけたり、技術指導に多摩のメンバーは応援してきました。

気が付いたら10年たっていました。彼女たちの製品を購入することで経済的自立の手伝いができ、それを販売し収益金を国連ウィメン日本協会、UN Womenを通して、次の途上国の支援に送れるようになりました。今年10年の記念展示会にメンバー7名で行ってきました。

会長 小川裕未



## 国連ウィメン日本協会 よこはま

6月21日、明治学院大学の1日社会貢献プログラム“1Day for Others”で7名の学生さんを受け入れ、UN Womenの理念を理解しPR紙の作成やショップのレイアウトなど実践的な活動をしていただきました。

9月26日、国連ウィメン日本協会の理事である目黒依子さんを講師に迎え、「UN Womenと日本の課題」についてのセミナー開催。ミレニアム開発目標で、まだ改善されていない課題、政策の遅れなど、私たちも声を上げていくことが必要だと改めて考えさせられました。

10月は横浜市内各地の地域バザーに参加。私たちの活動やグッズの良さを知って買いに来てくださるリピーターが、年々増えていることは嬉しい限りです。

11月26日、17回目となるチャリティコンサートは、バンドネオンとギターで奏でるタンゴ・デュオ。出演は女性としては珍しいバンドネオン奏者で日本でも屈指の小川紀美代さんと若手ギター奏者の智詠さん。躍動感溢れるバンドネオンと情熱的なギターの音色が、かなっくホールいっぱいに響きわたり聴衆を魅了しました。

会長 樽谷文代



## 国連ウィメン日本協会 東京

11月10日、(公財)日本キリスト教矯風会と共催で朗読劇「SEVEN・セブン」を上演しました。

「ほんの少しだけ聞いてください…7人の女性の7つの人生を…」で幕が上がり、同時進行で7人の女性の物語が始まります。

この朗読劇は、2008年ニューヨークで誕生。元ファーストレディ、前国務長官ヒラリー・クリントン氏を筆頭に元国務長官マデレーン・オルブライト氏等21世紀の米国を代表する多くの女性たちから熱烈な支援を受けました。

女性劇作家7人と世界7か国の女性リーダー7人が出会い、芸術、政治、社会活動との融合により出来上がった作品。

女性の教育、DV、タリバンから受ける女性抑圧等々と闘いながら生きている人生が生々しく語られていて、UN Womenの存在意義を再確認したひと時でした。

会長 安陪陽子



## 国連ウィメン日本協会 さくら

11月15日、国連ウィメン日本協会岩田喜美枝副理事長の講演会を開催。赤松良子先生もお見えになり、ご挨拶頂きました。

講演は、働く女性に焦点をあてて「女性はもっと活躍できる」との題でお話をして頂きました。会場の憲政記念館には、大妻中野中学校・高等学校の女子学生を含め、多くの人が集結。活躍してこられた岩田副理事長ならではの実践に基づくリアルなお話が沢山あり、素晴らしいご講演に会場も熱気に包まれて、あっという間の1時間半でした。参加者から国連ウィメン日本協会への募金も多数集まりました。後日、講演内容をまとめて勉強会を開くグループもあり、実践に移すため日々研鑽しております。常に初心を忘れず国連ウィメンの啓発を推進して参ります。

広報部



## 事務局からの報告

### ■UN Womenとの承認協定

2013年春から検討を続けてきましたUN Womenとの承認協定は日本語訳が完了し、UN Womenと締結の署名に向けて進んでいます。次号のニューズレターでは、承認協定概略を紹介する予定です。

### ■新正会員団体の紹介

国際ゾンタ26地区が正会員団体に加入されました。国際ゾンタは、女性の社会的地位を世界的に推進するNGOで、日本でも活発に活動されています。

### ■新賛助団体の紹介

国連ウィメン日本協会は現在、賛助団体の増強に力を入れています。賛助会費は、寄付控除とおなじ特典があるため、企業等に加入をお願いしています。(株)グッドバンカー、(株)電通、(株)リコーに引き続いて、アムウェイ合同会社、(株)フジテレビジョンが、このほど賛助団体に加入され、ご協力いただけることになりました。国連ウィメン日本協会を通して、女性支援をお考えの企業等の皆様、ぜひ、事務局にご連絡ください。

### ■2015年度総会・協力協定団体ネットワーク会議開催のお知らせ

日時 2015年2月14日(土) 11:00～16:30

会場 婦選会館多目的ホール

総会 11:00～12:30

#### 主な議題

2014年度活動報告・活動計算書(案)

2015年度活動計画・活動予算書(案)

ネットワーク会議 13:30～16:30

#### 主な内容

協力協定団体からの活動報告

各団体の間での自由な意見交換

### ■寄付者一覧(前回掲載以降2014.12.22現在)

稲田和永 大西珠枝 国連ウィメン日本協会東京  
宮澤知子 ビューティショップK 岩田喜美枝 大塚享子 竹本千代子 国際ソロプチミストアメリカ日本西リジョン 金子みどり いそのりょうへい 有馬真喜子 上里町女性会議 (株)エイボン プロダクツ (株)ソシア 西澤誠太郎 (公財)こうち男女共同参画社会づくり財団 国連ウィメン日本協会よこはま 国連ウィメン日本協会多摩 石橋三洋 讃井暢子 富士ゼロックス株式会社 富士ゼロックス端数倶楽部

■書き損じはがき寄付(2014.12.22現在)  
土屋有利子

■ブックオフ宅本便寄付(2014.12.22現在)  
土屋有利子

■正会員団体17団体(2014.12.22現在)  
〈団体〉(財)アジア女性交流・研究フォーラム NPO法人一冊の会 (一財)大阪市男女共同参画のまち創生協会 群馬婦友会 国際婦人年連絡会 堺市女性団体協議会 全国友の会 国連ウィメン日本協会堺 国連ウィメン日本協会さくら 国連ウィメン日本協会多摩 国連ウィメン日本協会東京 国連ウィメン日本協会よこはま (公財)横浜市男女共同参画推進協会 国際ゾンタ26地区  
〈企業〉イオン1%クラブ (株)高島屋 日本たばこ産業(株)

■正会員個人39名(2014.12.22現在)

■賛助団体15団体(2014.12.22現在)  
〈団体〉(公財)京都市男女共同参画推進協会 久留米市男女平等推進センター (一社)国際女性教育振興会茨城県支部 越谷ミズの会 (公財)せんだい男女共同参画財団 (一社)大学女性協会 にいがた女性会議 日本生活協同組合連合会 浜松市男女共同参画推進協会 (公財)佐賀県女性と生涯学習財団  
〈企業〉(株)グッドバンカー (株)電通 (株)リコー アムウェイ合同会社 (株)フジテレビジョン

■賛助個人129名(前回掲載以降2014.12.22現在)  
原口照代 吉住潤子 江尻美穂子 露木麻紀

## <認定> NPO 法人国連ウィメン日本協会

旧称: UN Women 日本国内委員会

### 事務局

〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町435-1

男女共同参画センター横浜内(フォーラム)

・TEL. FAX. 045-869-6787

・Email unwomenihon@adagio.ocn.ne.jp

・ホームページ <http://www.unwomen-nc.jp>

●交通のご案内 JR・横浜市営地下鉄「戸塚駅」下車、徒歩7分

